



## お気に入りの映画館

教育研修部

金子 昌一郎  
KANEKO SHOICHIRO

皆さん、こんにちは。日ごろ産業廃棄物講習会の運営業務等を担当している金子です。

十数年前、自宅の近くに、元銀行の建物を改装した映画館ができました。金庫の中が映写室というユニークな映画館です。客席数もせいぜい50～60席程。満席にでもなればスタッフが立ち見の客のために折りたたみ椅子を用意してくれました。そればかりか恐らくは手作りであろう座布団まであるのです。こうした手作り感が気に入っていました。残念ながら、その後、区画整理のため建物は取り壊されてしまいました。現在は移転して300年もの歴史を持つ酒蔵跡を改装した建物になっています。前にも増して素晴らしい映画館になりました。もちろん移転後も手作り感のある運営は当初のままです。

私はここに10年ほど前から通い詰めています。これまでに恐らく400本を近くの映画を観てきました。これからこの小さな映画館でどんな映画が私を待っていてくれるのでしょうか。その密かな出会いを期待して映画館通いがまだ続きそうです。

今私は仕事で全国を回っています。いつかどこかで読者の皆様とお会いできるかも知れません。その時は「このまえ観た映画は良かったよ」とぜひ一声掛けて下さい。皆様のお気に入りの「映画」のお話を何うのを楽しみにしています。

## 編集後記

秋号では、当センター調査部が昨年度に実施しました「廃棄物の焼却処理に伴う化学物質のフローと環境排出量推計に関する研究」を掲載いたしました。

コラムは長野都市ガス株式会社の塩入様に、連載講義は「廃棄物対策から効率的な資源管理」について前国際連合地域開発センターの小野川様に、引き続きご執筆いただきました(3/4回目)。

「産廃クローズアップ」は、株式会社ユーコーリプロの西日本リサイクル工場にお伺いし、使用済み遊技機(ぱちんこ・パチスロ機)のリサイクル・リユースの取組について取材させていただきました。リサイクル処理のみならず、製造メーカーへのリユース情報の提供・回収率向上のためのシステム構築など、業界全体を捉えた事業内容についてご説明いただきました。

「行政のうごき」は、横浜市に第7次横浜市産業廃棄物処理指導計画について、また、電子manifestの「ユーザ事例紹介」は、株式会社要興業に、電子manifest導入のメリットについてご執筆いただきました。

ご多忙の中、記事をお寄せいただいた執筆者の皆様、取材や編集にご協力いただいた皆様、本誌を読んでくださった読者の皆様に心から感謝申し上げます。(田中)

本誌に関する連絡先：総務部広報室 e-mail:jigyo@jwnet.or.jp

### 【アンケートへのご協力のお願い】

より充実した誌面作りのために、本誌の記事内容等に関する読者アンケートを当センターホームページ(以下のURL)に掲載しています。本誌に関するご意見・ご要望を是非、お聞かせください。

URL <http://www.jwnet.or.jp/publish/kikansi/index.html>

日廃振センター情報(季刊) VOL.16 NO.3 発行日:平成28年10月15日発行 発行人:岡澤和好  
発行所:公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階  
TEL:03-5275-7111 FAX:03-5275-7112 <http://www.jwnet.or.jp/>  
デザイン・印刷 株式会社ぎょうせい